

基本設定

町丁

四方寄町

イベント設定

イベントタイプ

housing

効果方向

increase

手動加算パラメータ

h1 (2026年) 手動加算

50.00

h2 (2027年) 手動加算

30.00

h3 (2028年) 手動加算

20.00

固定パラメータ

固定設定:

基準年: 2025

予測期間: [1, 2, 3]年先

年オフセット: 0年 (当年)

信頼度: 1.0

強度: 1.0

ラグ効果: 当年・翌年両方

# シンプル人口予測ダッシュボード

町丁、イベントタイプ、効果方向を選択して人口予測を実行

## 現在のシナリオ

選択町丁

イベントタイプ

効果方向

四方寄町

housing

increase

## シナリオ詳細

町丁: 四方寄町

基準年: 2025

予測期間: 1-3年先

イベントタイプ: housing

効果方向: increase

年オフセット: 0年 (当年)

信頼度: 1.0

強度: 1.0

手動加算: h1=50.0人, h2=30.0人, h3=20.0人

## 予測実行

予測実行

Step 1: 将来イベント行列を生成中...

Step 2: 基準年データを準備中...

Step 3: 将来特徴を構築中...

Step 4: 人口予測を実行中...

予測が完了しました！

町丁

基準年

予測期間

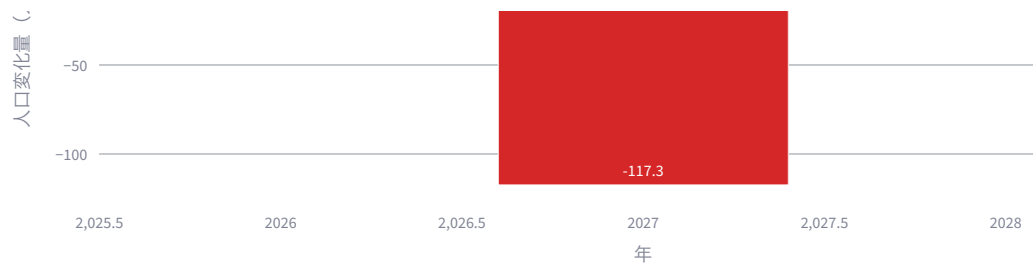
期待効果の内訳（率→人数換算+手動）

	年	期待効果（率）	母数	人数換算（率x母数）	手動人数	合計（率+手動）
0	2026	0.01%	2888	0.1876	50	50.1
1	2027	-4.49%	2868.8657	-128.8474	30	-98.8
2	2028	0.00%	2850.4555	0.0741	20	20.0

+28.6人

年	人数 (中心値)	人数 (範囲)
2026	2920	2905 - 2935
2,026.5	2860	2840 - 2880
2027	2802	2785 - 2820
2,027.5	2802	2780 - 2822

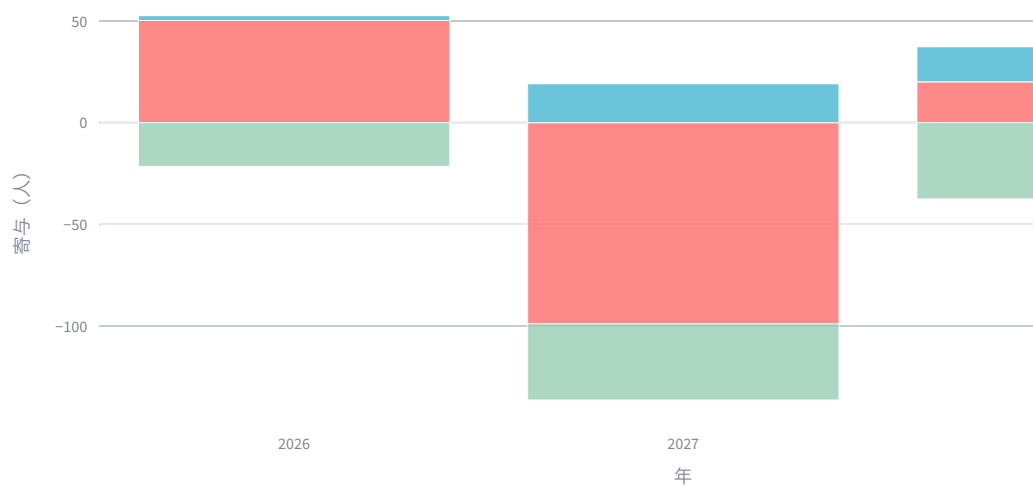
Jahr	Veränderung in der Anzahl der Beschäftigten (in Tausend)
2007	+31.1
2008	-18.5
2009	-10.5
2010	-10.5
2011	-10.5
2012	-10.5
2013	-10.5
2014	-0.2



グラフにマウスオーバーすると「率・母数・人数換算・手動」の内訳が表示されます。

## 🍌 寄与分解

### 寄与分解（積み上げバー）

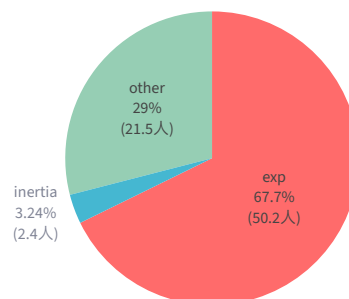


## 🍌 年別寄与分解（円グラフ）

年を選択

2026

### 寄与分解: 2026年



## 📋 詳細データ

デバッグ詳細ファイルの読み込みに失敗しました: "[year]" not in index"

	年	人口	Δ人口	期待効果	マクロ	慣性	その他	人
0	2026	2919.1	31.1	50.2	0	2.4	-21.5	[25]
1	2027	2801.8	-117.3	-98.8	0	19.1	-37.5	[27]
2	2028	2801.6	-0.2	20.1	0	17.2	-37.5	[27]

📊 サマリー統計

総人口変化

-117.5人

平均年次変化

-28.8人/年

最大期待効果

+50.2人

期待効果合計

-28.6人

↑ 2919.1 → 2801.6

🔍 期待効果内訳サマリー

率由来合計

-128.6人

手動合計

+100.0人

合計

-28.6人

- Debug: raw explain JSON（開発用）
- 📐 計算式の説明
- ? ヘルプ